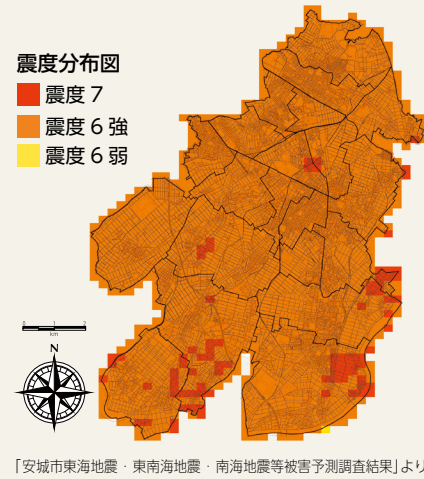


9月1日は防災の日



毎年9月1日は「防災の日」。
「防災の日」は、様々な災害について認識を深め、災害に対する心構えを準備する日です。
サルビーと一緒に災害のことを知って、あなたとあなたの大切な人を守るための第一歩を踏み出しましょう。



質問!
「南海トラフ地震」ってよく聞くけど、この地震っていつ起こるの？

30年以内に、**80%程度の確率で発生する**とされています。

80%はこわいね…。安城市ではどんな揺れ方をするのかな？

立てないほどの激しい揺れが、**1~3分続く**可能性があります。

激しい揺れだけじゃない!

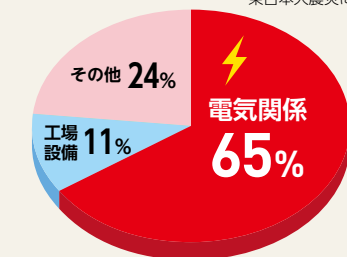
地震で気をつけること



市HPで支援制度やパンフレットを確認しよう!

Check!!
地震による**火事の原因**のうち、**電気機器からの出火**が**65%**

東日本大震災において、出火原因が確認された火災原因の割合



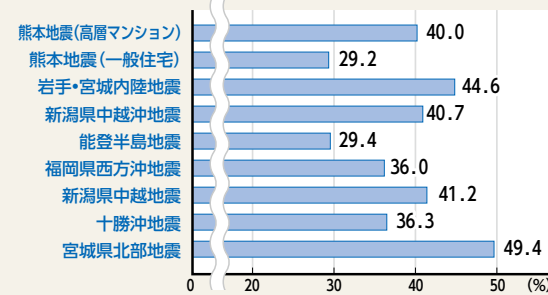
「大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会報告書」から引用

火災予防のため**感震ブレーカー**の設置を検討しよう!
※住居が対象。



Check!!
地震による**怪我の原因**のうち、**家具の転倒等**が**30~50%**

近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合

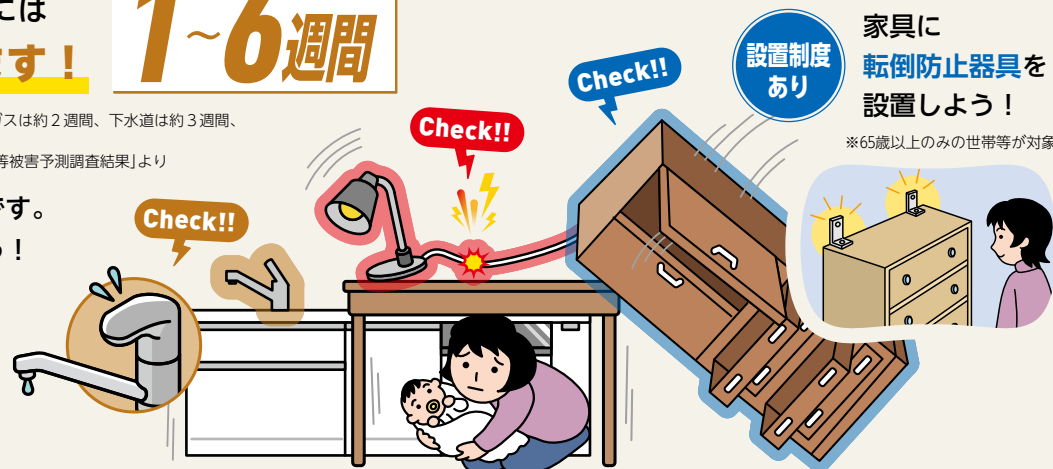


東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」から引用

Check!!
ライフラインの復旧には**1~6週間**時間がかかります!

※電気・電話・LPガスは約1週間、都市ガスは約2週間、下水道は約3週間、上水道は約6週間と想定されます。
「安城市東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」より

復旧までの備蓄が必要です。
1週間分の備蓄をしよう!



質問!
地震が来たら、避難所に避難しなければならないの？



在宅避難のメリット

①安全な避難

自宅が耐震性のある建物であれば、安全に避難でき、避難所への移動の際の混雑も避けられます。

②プライバシーの確保

自分の空間を保てるため、プライバシーが守られ、犯罪被害に遭うリスクが減る可能性があります。

③身近な人と助け合う

家族や身近な人と過ごせる自宅なら、意思疎通がとりやすく、災害時にも協力しやすくなります。

④必要な物資の確保

自宅で備蓄している食料や生活用品の使用に加え、避難所で必要物資を調達することができます。

⑤慣れた環境での生活

生活リズムを維持しやすく、特に子どもや高齢者のストレス軽減にもつながります。

⑥ペットとの避難

避難所では難しいペットとの生活も、自宅なら安心して一緒に過ごすことができます。



9月9日は救急の日

図▶衣浦東部広域連合消防局
(☎(63)0135)

9月7日~13日は「**救急医療週間**」です。衣浦東部広域連合消防局では、応急手当の普及を目的に、毎月救命講習会を開催しています(本号31ページ参照)。また、ホームページでは、救急・応急手当・防火等の情報を発信しています。

一秒でも早く助きたい命がある!

脳は心臓が止まると約15秒で意識を失い、約4分以上たつと回復が難しくなります。心停止の間、心肺蘇生で脳や心臓に血液を送り続けることは、AEDの効果を高め、後遺症を防ぐうえでも大切です。命が助かる可能性は時間とともに低下しますが、その場に居合わせた人が心肺蘇生を行えば、高まることがわかっています。

命を守るには、応急手当が欠かせません。必要場合は消防局が電話で指示します。救急車の到着には時間がかかるため、いざというときに備え、正しい手当を身につけましょう。

救急救命士

救急救命士法が施行され、救急車に救急救命士が乗車し、高度な救命処置が行えるようになりました。これに伴い、衣浦東部広域連合消防局すべての救急車に救急救命士が乗車しています。

